

# 運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社  
東京都荒川区西日暮里3-6-10  
佐々木ビル3F 〒116-0013  
TEL03-5685-0035  
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2  
〒541-0048 TEL06-6209-3261  
発行人・野口香織  
火・金発行(祝日を除く)  
3,600円/月(送料・税込)

2021年

1月8日(金)

第17361号

http://www.e-sohko.com



TEL.03-5439-9401

## 日通総研 20年度国内貨物輸送7.0%減

# 21年度 回復力弱く1.7%増

日通総合研究所は、2020・2021年度の経済と貨物輸送の見通しを発表した。20年度の国内貨物輸送は、上期がコロナ・ショックに加え、前年度の消費増税の影響もあり全品類が大幅に減少。下期はマイナ幅がいくぶん縮小するが、通期で7.0%減とリーマン・ショック後の6.0%減を下回る見通し。

足元の世界経済は、全世界でコロナの拡大に歯止めがかかっている。反動増の意味合いが強く、感染再拡大による下振れの可能性は高い。荷動き指数の推移をみると、20年4～6月は65と最大の落ち込みで、7～9月は59、10～12月は42、21年1～3月は36としばらく上昇が続くと予測。

	2020年度	2021年度
総輸送量	4,382.6 △ 7.0	4,458.2 1.7
鉄道	39.3 △ 7.8	41.1 4.5
JR	27.3 △ 6.8	28.5 4.3
その他	12.0 △ 9.9	12.6 4.9
自動車	4,036.0 △ 6.8	4,097.8 1.5
営業用	2,839.6 △ 7.0	2,910.9 2.5
自家用	1,196.4 △ 6.2	1,186.9 △ 0.8
内航海運	306.7 △ 10.2	318.6 3.9
国内航空	0.518 △ 33.3	0.659 27.2

	2020年度	2021年度
輸出	4,398 △ 10.2	4,683 6.5
輸入	7,039 △ 3.6	7,213 2.5

  

	2020年度	2021年度
輸出	914.0 △ 11.4	1,031.0 12.8
輸入	1,190.1 △ 9.4	1,230.1 3.4

反転。内航は生産の持ち直しなどで3.9%増、国内航空も大幅減の反動から27.2%増と、ともに8年ぶりの増加に。

## JR貨物コンテナ3往復新設 3月改正

JR貨物は21年3月の時刻改正で、積合せ貨物の輸送コンテナ列車新設など新しい輸送サービス4メニューを発表した。

①コロナ禍における新しい生活様式への変化によるeコマース需要の急増に合わせて、積合せ貨物の輸送に対する列車を充実させるため、3往復のコンテナ列車を新設する。

消費財の荷動き復調で2.5%増と、ともに3年ぶりにプラスに転じる輸出6.5%増、輸入はと予測する。

発・東京(夕)17時38分着と、列車の運転時刻を夜間から昼間に見直し、輸送機材などの効率的利用を図る。

## 9日頃にかけて暴風雪続く

9日頃にかけて、全国的に風が強まり、大雪や暴風雪による立ち往生に警戒が必要となることから、国土交通省および気象庁は、運転する場合は冬タイヤの装着および摩擦劣化の状況確認、チェーンの携行および早めの装着を呼びかける緊急発表を行った。

②荷主から要望の強い3地域間の輸送力を5個(1東分)増強する。

③広島貨物ターミナルから仙台(夕)、熊谷(夕)、宇都宮(夕)、越谷(夕)、大阪(夕)、姫路貨物行の31コンテナの取扱個数を拡大し、大型コンテナ輸送ネットワークを拡充する。

これより前、同省は全日本トラック協会に対して、大雪に対する緊急発表を踏まえ、輸送の安全確保に万全を期すよう要請。安全確保措置を適切に講じずに運行し、貨物自動車運送事業輸送安全規則の規定に違反したことが確認された場合は、行政処分を行うことを周知するよう求めた。

## 新春インタビュー 赤羽国土交通大臣

次期総合物流施策大綱の主要論点である物流DXおよび物流標準化への意気込み

☆新型コロナウイルス感染症の拡大下にあっても、物流は、国民生活や経済活動を支える不可欠なサービスとしてその機能を維持してきた。まさにエッセンシャルワーカー



赤羽一嘉氏(左)、赤羽一嘉氏(右)の物流への観点から、輸配送や庫内作業用

## 赤羽国土交通大臣

1であり、改めて敬意と感謝を申し上げる。物流は国民生活や経済成長を支える重要な社会インフラだが、トラックドライバーをはじめとする担い手の不足や、一般的な新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、物流を取り巻く環境は厳しさを増している。

## 新たな挑戦を支援

## 物流DXと標準化 強力に推進

DXの前提となるパレットや商品規格等の標準化についても、加工食品をはじめとするさまざまな分野で具体的な取り組みが進みつつある。

回復後の成長投資の確保も見据え、令和3年度予算成立を前提に、総額1200億円規模で空港使料や航空機燃料税のさらなる軽減策を構築していく。

具体的には、タクシーが有償で食料・飲料を運送できるように措置して

Y.T(21.1.8)

## 蛍

新型コロナウイルス感染症の増加が止まらない。政府はようやくgottaキャンペーンの一時的な中止を決めたが、キャンペーンが感染者増大の原因という科学的根拠はないといまだに強弁している。このウイルスは人と人の接触で感染するから、人が移動し交わる機会が増えれば感染が拡大するのは当たり前で、これだけ全国に蔓延しているのはgottaで旅行や飲食に出かけることを煽り立てた結果、感染者を爆発的に増やしたことが明らかで、政策の失敗であったことは否めない。

このウイルスは高齢者には危険だが若者には風邪くらの症状で恐れられることはないという認識が広まり、若者の自由奔放な行動が家庭内や職場での感染を広げる要因となっている。若者でも感染後の後遺症は深刻なことをもって警告し注意を促すべきだった。医療従事者の悲痛な叫びにやっとなんか大変な事態になつた」と政府も自治体も本気で対策に乗り出したが、医療崩壊は今そこにある危機である。経済を回すことと感染防止の両立は難しいことがわかったのでgottaキャンペーンはワクケン投与が行き渡った後で再開すればいい。「二鬼を追うもの一鬼も得ず」一急がば廻れこれらの格言をもう一度噛みしめてほしい。